

子どもの貧困対策

▶ 子どもの貧困とは

等価可処分所得の中央値の50%以下の所得、つまり一般的な水準の半分にも満たない水準で暮らしている17歳以下の子どもの存在及び生活状況。

子どもの貧困指標である子どもの貧困率が、
H25年度厚生労働省調査で過去最悪の値を記録。

子どもの貧困対策

▶ 子どもの貧困

子どもの貧困率

16.3%

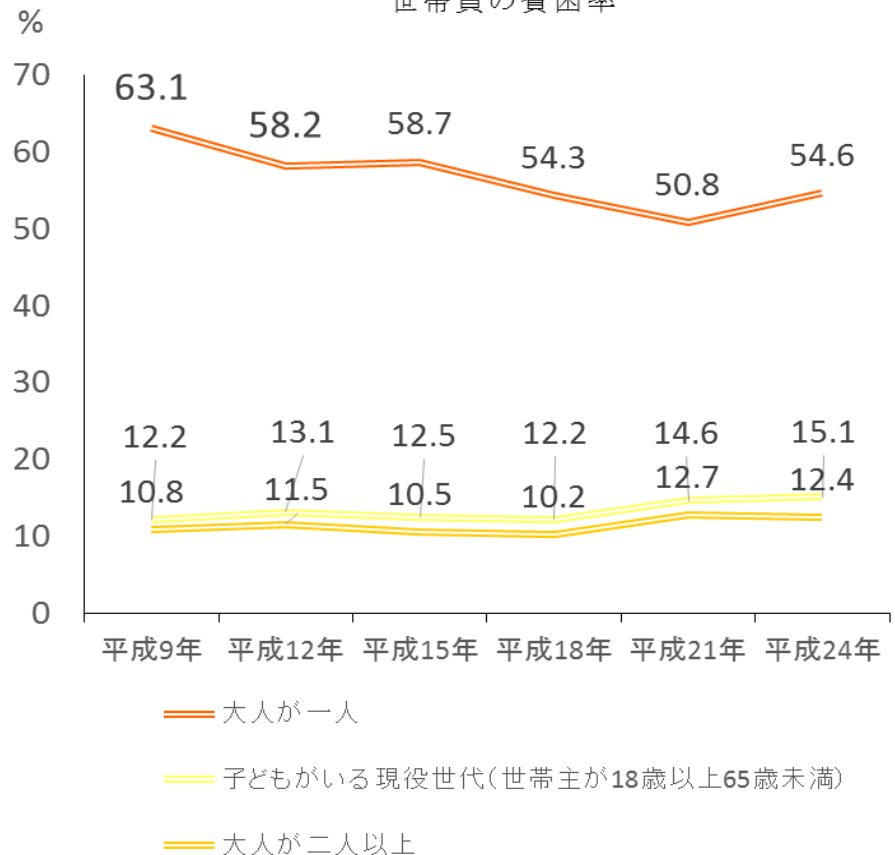
(6人に一人が貧困状態)

ひとり親家庭の 子どもの貧困率

54.6%

(2人に一人が貧困状態)

図1: 子どもがいる現役世代(世帯主が18歳以上65歳未満)の世帯員の貧困率



子どもの貧困対策 ①国の状況

目的・理念

- 子供の将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図る。
- 全ての子供たちが夢と希望を持って成長していける社会の実現を目指し、子供の貧困対策を総合的に推進する。

子どもの貧困対策 ①国の状況

基本的な方針

1. 貧困の世代間連鎖の解消と積極的な人材育成を目指す
2. 第一に子供に視点を置いて、切れ目のない施策の実施に当に配慮する。
3. 子供の貧困の実態を踏まえて対策を推進する。
4. 子供の貧困に関する指標を設定し、その改善に向けて取り組む。
5. 教育の支援では、「学校」を子供の貧困対策のプラットフォームと位置付けて総合的に対策を推進するとともに、教育費負担の軽減を図る。

子どもの貧困対策 ①国の状況

基本的な方針

6. 生活の支援では、貧困の状況が社会的孤立を深刻化させることのないよう配慮して対策を推進する。
7. 保護者の就労支援では、家庭で家族が接する時間を確保することや、保護者が働く姿を子供に示すことなどの教育的な意義にも配慮する。
8. 経済的支援に関する施策は、世帯の生活を下支えするものとして位置付けて確保する。
9. 官公民の連携等によって子供の貧困対策を国民運動として展開する。
10. 当面今後5年間の重点施策を掲げ、中長期的な課題も視野に入れて継続的に取り組む。

子どもの貧困対策 ①国の状況

子どもの貧困に関する指標

- 生活保護世帯に属する子供の
高等学校等進学率・高等学校等中退率・
大学等進学率・就職率
- 児童養護施設の子供の進学率及び就職率
- ひとり親家庭の子供の
就園率(保育所・幼稚園)・
進学率及び就職率

子どもの貧困対策 ①国の状況

子どもの貧困に関する指標

- スクールソーシャルワーカーの配置人数、スクールカウンセラーの配置率
- 就学援助制度に関する周知状況
- 日本学生支援機構の奨学金の貸与基準を満たす希望者のうち、奨学金の貸与を認められた者の割合
- ひとり親家庭の親就業率
- 子供の貧困率
- 子供のいる現役世帯のうち大人が1人の貧困率

子どもの貧困対策 ①国の状況

指標の改善に向けた重点施策

- 教育の支援
- 生活の支援
- 保護者に対する就労の支援
- 経済的支援
- 子供の貧困に関する調査研究
- 施策の推進体制等

子どもの貧困対策 ①国の状況

- ▶ すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクト
(平成26年8月29日閣議決定)

I ひとり親家庭・
多子世帯等自立
応援プロジェクト

II 児童虐待防止
対策強化
プロジェクト

子どもの貧困対策 ①国の状況

I ひとり親家庭・多子世帯等自立応援プロジェクト

- 就業による自立に向けた支援を基本にしつつ、子育て・生活支援、学習支援などの総合的な取組を充実
- 具体的には、ひとり親家庭が孤立せず支援につながる仕組みを整えつつ、生活、学び、仕事、住まいを支援するとともに、ひとり親家庭を社会全体で応援する仕組みを構築

子どもの貧困対策 ①国の状況

I ひとり親家庭・多子世帯等自立応援プロジェクト

【主な内容】

- 自治体の窓口ワンストップ化
- 子どもの居場所づくりや学習支援の充実
- 親の資格取得の支援の充実
- 児童扶養手当の機能の充実 など

子どもの貧困対策 ①国の状況

Ⅱ 児童虐待防止対策強化プロジェクト

- 児童虐待について、発生予防から発生時の迅速・的確な対応、自立支援まで、一連の対策をさらに強化。

子どもの貧困対策 ①国の状況

Ⅱ 児童虐待防止対策強化プロジェクト

【主な内容】

- 子育て世代包括支援センターの全国展開
- 児童相談所体制強化プラン(仮称)の策定
- 里親委託等の家庭的養護の推進
- 退所児童等のアフターケア など

子どもの貧困対策 ②県の状況

- ▶ 社会生活上の困難を抱える子どもを支援する奈良県計画（平成28年3月策定）

基本目標

すべての子どもがその将来に夢や希望を持って
成長していける 奈良県の実現

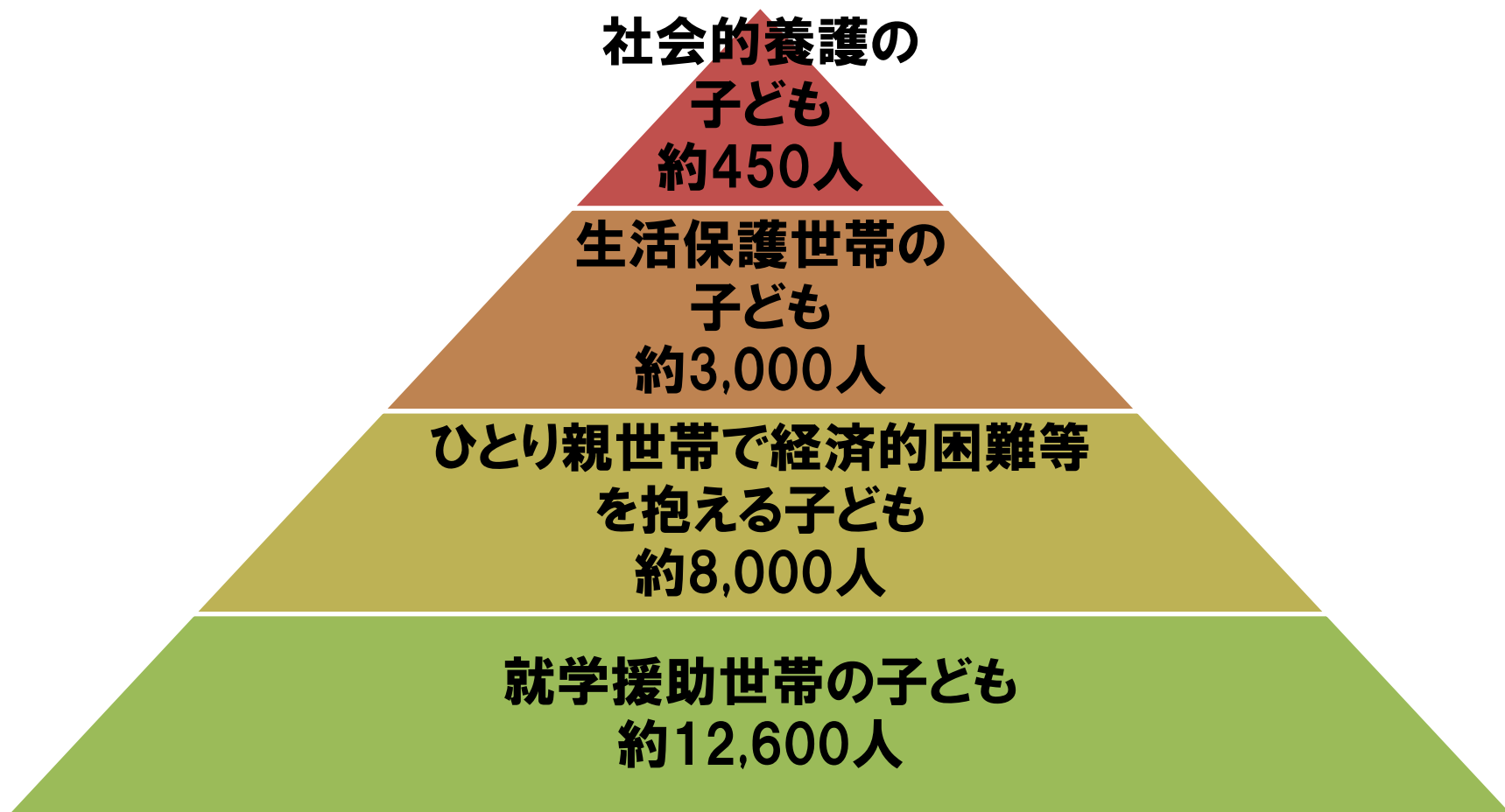
1. 経済的困難等にかかわらず、才能や希望を実現できるよう子どもへの支援を行います。
2. 子どもと家庭に寄り添い、より実効性のある支援となるよう行政と地域が連携して施策を推進します。

子どもの貧困対策 ②県の状況

支援の対象となる子ども

- 生活保護、就学援助等生活困窮世帯の子ども
生活保護 約3,000人 就学援助 約12,600人
- ひとり親世帯で経済的困難等を抱える子ども
約8,000人
- 社会的養護の子ども 約450人

子どもの貧困対策 ②県の状況



子どもの貧困対策 ②県の状況

施策の骨子

- 学力の向上、困難を「生きる力」の育成
- 安心、安全な居場所づくり
- 家庭の生活を下支えする
- 福祉、教育等行政と地域が連携した支援の推進

子どもの貧困対策 ③市の状況

▶ (仮称) 奈良市子どもの貧困対策計画

目的

1. 貧困の状況にある子どもや家庭の実態把握と支援ニーズの調査・分析
2. 支援ニーズに応えるため、地域において現存する資源量及び今後必要となる資源量の把握
3. 「3つのつなぎ」を実現することが出来るコーディネーターの配置・設置を核とした体制整備を念頭に支援体制の整備計画の策定

子どもの貧困対策 ③市の状況

手順

実態調査

- アンケート調査
- ヒアリング調査

計画骨子の作成

パブリックコメントの実施

計画及び概要版の作成